



11月17日(土)・18日(日)

楽しいイベント盛りだくさん 岸本公民館きないや祭

恒

例のきないや祭が11月17日(土)・18日(日)、岸本公民館周辺で開催され、多くの人で賑わいました。

保育所児童・小中学生・住民有志・公民館教室の作品展が行われたほか、ぜんざいやイノシシの味噌汁、食生活改善推進委員の身体にやさしい食事がふるまわれました。

このほか、和太鼓の演奏、コーラスグループの合唱、お茶席、陶芸体験、フリーマーケットなど多彩な催しが行われ、訪れた人は思い思いに楽しんでいました。



▲風陣太鼓と一緒に太鼓をどんどん



▲多くの人で賑わいました

11月23日(金・祝)

待望のバイパスが開通 国道181号岸本バイパス開通

伯

書町吉定から米子市諏訪に抜ける国道バイパスが全線開通し、11月23日(金・祝)に開通式が行われました。

交通事故の減少や、交通渋滞解消のため、平成10年度から工事が始まりましたが、地盤の強化対策や、遺跡の発掘調査が必要となったため、工事期間が延長され、全線開通まで20年かかりました。

当日は、開通行事として、日野川に架かる伯耆大橋の渡り初めを地元吉定集落住民が行ったほか、テープカットで開通を祝った後、ウォークラリーが開催されました。

このバイパスの開通により、交通事故の減少と交通渋滞の解消が期待されます。



▲供用開始前の道路を歩いて楽しめます

12月2日(日)

人権意識を高め、 差別のない町を目指して 第14回伯耆町人権・ 同和問題実践研究交流会

人

権同和問題の解消に向けた学習を進めるための実践研究交流会が、12月2日(日)鬼の館で開催されました。

交流会では、人権啓発標語入選者表彰や実践発表、公演が行われました。実践発表では、米子市にある人権学習サークル「トラの穴」の福原潤一さんが活動内容の報告をされ、「内面にある差別意識に気づくことが大切。気づきが差別を解消していく」と話しました。

その後の公演では、昨年に引き続き、人権問題講演家の福永宅司さんの一人芝居が行われ、参加者は、偏見が生む差別の悲しさを表現した芝居を熱心に鑑賞していました。



▲一人芝居を演じる福永宅司さん



▲人権啓発標語入選者の皆さん